

下げ振り 自社制作承ります

現場に合ったオーダーメイドで製作可能
自社製作なのでコストを抑えやすい
ロック機構、高さ調整機構付きでワイヤーの劣化に
即時対応可能

下げ振り（さげふり）は、建物や構造物の水平方向の位置を正確に測定するための道具です。主に建物の変位を確認するために使用され、シンプルながら高精度の測定が可能です。免震構造物や高層ビルの水平位置を計測する際に使用します。

特徴と利点

- シンプルで壊れにくい：電源や複雑な部品を必要とせず、シンプルな構造なので長期間使用することができます。
- コストパフォーマンスに優れる：非常に経済的で、定期的な校正やメンテナンスを必要とせず、低コストで長く使えます。

重要性

下げ振りは、建物の水平方向の変位を正確に把握するために欠かせない道具です。特に免震構造物において、建物が地震や経年劣化によってどの程度動いているかを定期的にチェックすることで、長期的な安全性を確保します。

水平方向のずれが発生した場合、建物の構造全体に影響を与える可能性があるため、早期に検出して対策を講じることが非常に重要です。

点検内容

- 重りの状態確認：重りが正しく機能しているか、破損や劣化がないかを確認します。重りが歪んでいると測定精度に影響が出るため、定期的に状態をチェックします。
- ワイヤーの確認：ワイヤーが真っ直ぐに垂れているか、摩耗や絡まりがないかを確認します。ワイヤーが傷ついたりねじれていると正確な測定ができないため、不具合が発生した場合には交換が推奨されます。
- 基準点の確認：基準点が正しく設定されているか、誤差がないかを確認します。設置場所の環境が影響する場合もあるため、環境変化にも注意が必要です。

点検方法

1. 目視検査：重りやワイヤーが正常に機能しているかを目視で確認します。摩耗や劣化があれば交換を行います。
2. 基準線との照合：下げ振りが示す位置と、基準となるプレートを照らし合わせて、ズレの確認をします。
3. 定期的な測定と記録：定期的に測定を行い、結果を記録します。過去の測定データと比較することで、長期的な傾向を把握できます。

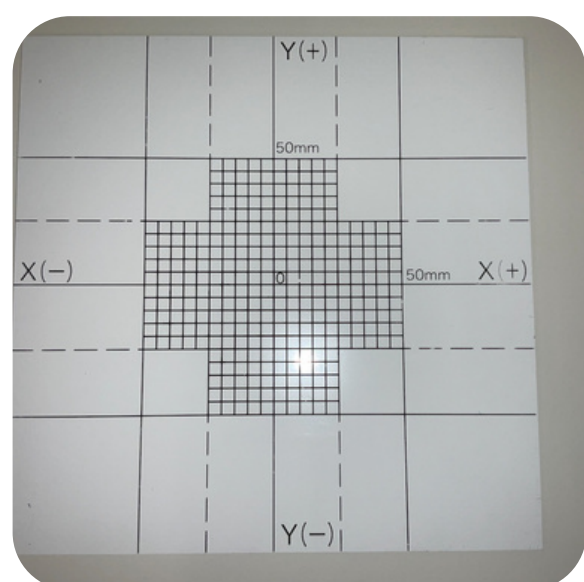
まとめ

下げ振りは、シンプルでありながら信頼性の高い測定機器として、建物や免震装置の維持管理に広く利用されています。定期的なズレの確認の測定は、建物の安全性を保つ上で非常に重要です。電源不要で長期間使用可能なため、経済的かつ効率的に建物のメンテナンスが可能です。

下げ振りの種類(取付実績)

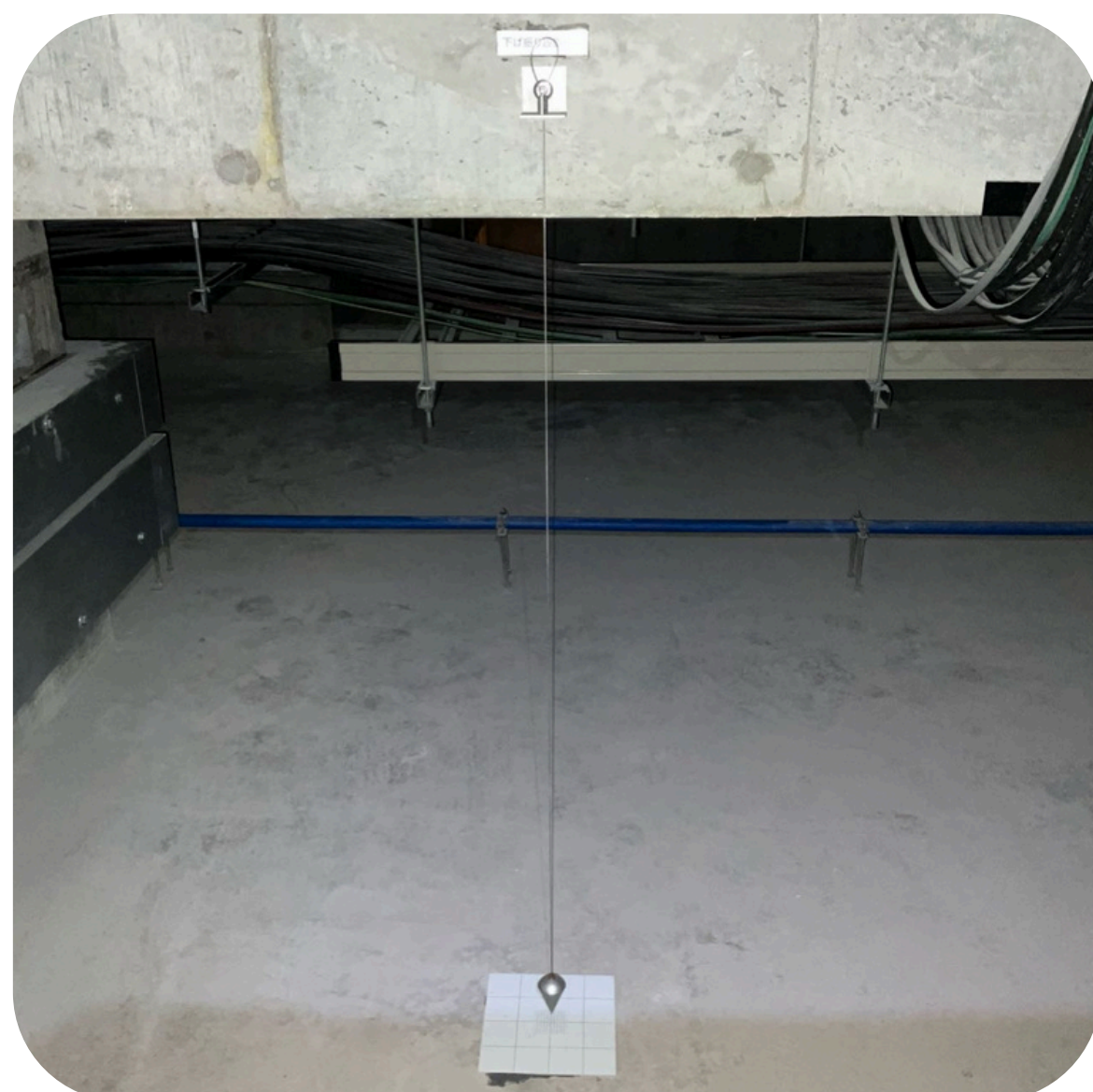


柱頭免震用



下げ振りプレート

建物位置 下げ振り



建物位置測定をもっと知りたい方は[こちらをクリック](#)